

# こんにちは三原じゅん子です

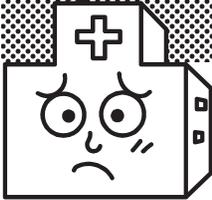
No. 10 2008年12月26日

日本共産党 名張市議会議員  
**三原 じゅん子**  
 すずらん台西4-202  
 ☎0595-68-3552

生活相談は  
お気軽に!



## 守れ! 市立病院



全国的に自治体病院の財政は年々悪化し、病院の閉鎖や民間委譲がすすんでいます。

議員になって3年目に入りました。日ごろ市民の皆さんから率直なご意見や暖かい応援の言葉を頂戴しありがとうございます。市の財政悪化がさかんに言われていますが、税金の使い方をチェックし、子どもからお年寄りまで安心して住める市政の実現のために頑張ります。

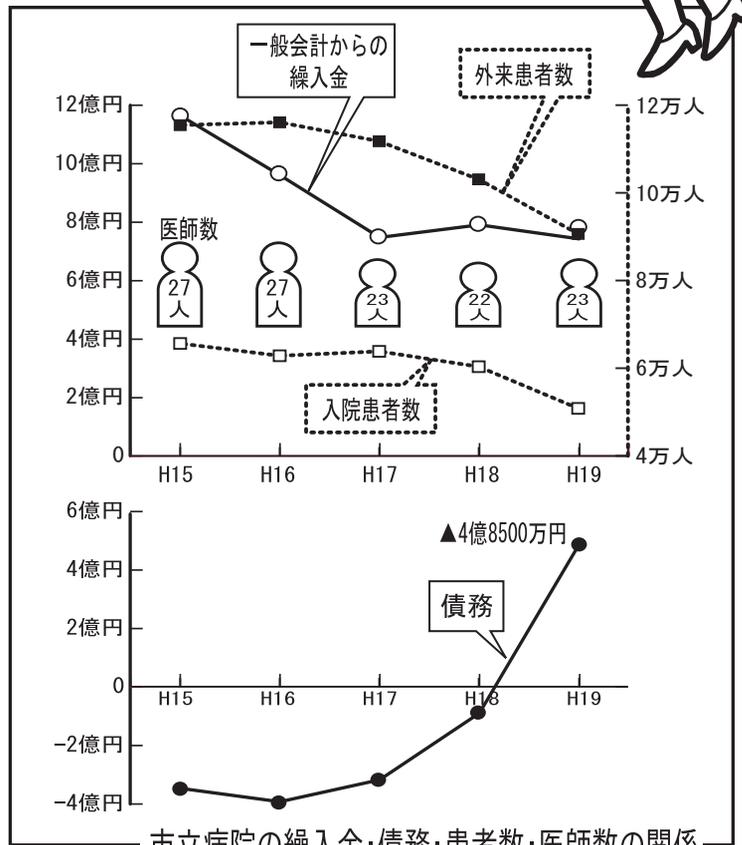
国の医療費抑制政策のもとでの診療報酬の引き下げ

患者負担の増加による診療抑制

### 自治体病院の現状

構造改革の推進での交付税削減により自治体の一般会計からの繰り入れ減

抑制政策による医師・看護師不足



公立病院改革ガイドライン  
 「骨太方針2007年」の中で、病院の経営効率化・再編ネットワークの方策を示している。自治体病院の困難の原因である医療費削減政策はそのまま、自治体のみで改革をせざるもの。

#### 公立病院改革ガイドライン

病院は赤字でも全体は黒字にすることができ、一方、多額の不良債務を抱える自治体は病院を民間委譲にするなどの切り離しにかかる懸念が、民間経営になれば不採算部門の受け入れ拒否などが予想される。

財政健全化法  
 一般会計と病院などの特別会計を連結決算に



国の対策では抜本的な解決にならない



名張市の状況は...

- 市立病院は建設費の債務はありましたが、単年度収支ではH18年度までは黒字でした。
- しかし H19年度からは医師不足により、医療業務の縮小を余儀なくされ、外来は1万2千人減、入院は9千5百人減となり、経営が悪化し不良債務が発生しました。
- 救急輪番制では、患者が重なり受け入れができないなどの事態があり、市民の命が脅かされています。

## 共産党の考え

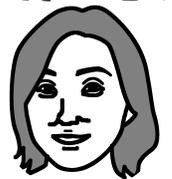
- ① 国の予算投入で医師の養成数を抜本的に増やす。
- ② 勤務医の過重労働を軽減するために薬剤師や助産師を増員。
- ③ 診療報酬の引き上げ。
- ④ 不足地域に医師を派遣・確保する取り組みを国が推進。

暮らしを変えていくため、一緒に声をあげていきましょう!

日本共産党は市会議員・国会議員・国会議員が力をあわせ地域の声を国政へつなげて政策を動かすことができます。



## 三原の意見



自治体病院問題に限らず、多くの問題の根本は国策にあります。「国策だから何を言ってもだめ」「市議会とは関係ない」「それでは暮らしは変わりません。今は国に言われるままではなく、地方が国に意見し動かす時代です。」

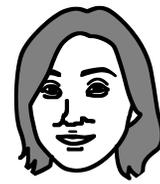


# 無保険の子どもの救済を早期に！

名張市内の「無保険」の子ども41人

- 12月19日に改正国保法が成立し、来年4月以降、国保税滞納世帯でも中学生以下の子どもには無条件で保険証が交付される。ただし有効期間6か月の「短期保険証」とし、市町村が保険証更新時に保護者と納付相談を行う。
- 乳幼児医療費無料化が就学前までに拡大されたが、窓口負担で後から返金されるしくみであるため、現状はお金がないと病院にいけない。
- 親が国保税を納められず、保険給付差し止めになっている世帯は全額窓口負担のため、さらに受診が困難。

**名張市の A** 後期高齢者医療制度がはじまり、高齢者も保険料納付ができない人は全額負担。子どもだけ特別扱いはできない。納税相談を受け、分納でも納付してもらう。



さいたま市・大津市では当初から子どもには配慮している。豊中市・交野市・摂津市では、国保税滞納世帯の中学生までの子どもに国保証の発行を決めている。

すべての子どもは健康に暮らし、医療を受ける権利がある。名張市はこども条例を制定している。

来年4月の保険証交付まで風邪やインフルエンザの流行が予測される。改正法施行にさきがけての保険証発行を強く求める。

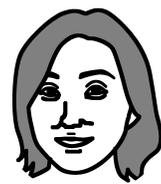


# 注文弁当は中学校給食ではない！

亀井市長、中学校の注文弁当実施で「中学校給食を実現した」と発言。その認識をたず

- 学校給食とは、学校給食法に基づいておこなわれるもの。
- 学校給食法の第6条では、経費の負担では、施設・設備・運営に要する費用は行政で、それ以外の食材費が児童・保護者負担と定められている。

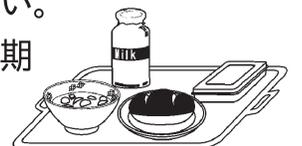
**名張市の A** 注文弁当は中学校給食ではない（教育長答弁）



学校給食は、学校給食法に基づいておこなわれるもので、その目的は、ただ空腹を満たすだけでなく、食を通じて人と人のきずなや生きることの基本を学ぶもの。

経費の点から見ても、注文弁当は全額、児童・保護者負担であり、給食とはとうてい言えない。

教育の一環として中学校給食の早期実現を求める。



# 平成20年度名張市一般会計補正予算について

## 心身障がい者の医療助成費問題のその後

- 6月議会で障がい者医療費助成削減案が出され、  

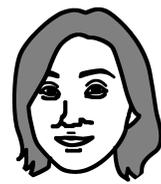
精神障がい者の入院費助成	の削減が可決された。 日本共産党は反対
2・3級の通院費助成	
療育手帳Bの人の入院・通院費助成	

当事者や医療関係者の「削減せずに現行通りの助成を求める請願」は可決されたのに、削減案が可決されてしまった。

- 9月議会では激変緩和措置として1ヶ月3000円の補助をつける案が提出され可決された。  
入院は1ヶ月で3万～7万円かかり、3000円では補助にならないと、日本共産党は反対。

他にも65才以上の高齢者の市民税が国の施策により本人の意をふまえず天引きとなる条例改正案があり、共産党は補正予算に反対した。

- 12月議会では、削減されていた入院・通院費の1/2助成が再提案された。三原が提言していた、市と当事者の対話がなされ、100%ではないが助成が復活した。日本共産党はこの案に賛成した。



みなさんと力を合わせ署名や請願をし、毎回議会で質問を重ねた成果です。

これからも市民が安心して医療を受けることができるよう国・県・市へ求めていきます。

